

OCEANIA CRUISES®

オーシャニアクルーズの 2025 年グランドボヤージュは
飽くなき冒険家にふさわしい没入感満載の大航海

オーシャニアクルーズの豪華小型客船で外洋、沿海、大陸を繋ぐ



東京 2024 年 8 月 26 日 - 美食と寄港地の魅力を追求し世界を牽引する[オーシャニアクルーズ](#)が、2025 年グランドボヤージュにスポットを当て、地球上で最も素晴らしい憧れの地をたどりながらの最もエレガントな長期クルーズの楽しみ方を提案します。

世界最大の仏教遺跡・インドネシアのボロブドゥールや、日本の富士山など、オーシャニアクルーズの小型客船を利用した多彩な旅程で、世界の驚異に触れることができます。

111 日間にわたる壮大な探検から、南米、アジア、オセアニア、ヨーロッパ、北米を巡るより短いクルーズまで、魅力的な旅程のセレクションは、じっくり時間をかけて巡る旅です。トーゴのサングエラでは村長が執り行うブドゥー教の儀式に参列。モロッコのアガディールではアトラス山脈を背にした街を探索し、ココ・ポリッツィメディナで日常を垣間見ます。

OCEANIA CRUISES®

ヨーロッパ各地の旅程では、オスロ、バルセロナ、アテネなどの代表的な港を訪れたり、サントリーニ島の白壁の建物の間をそぞろ歩きしたり、アイルランドのドニゴール県キリーベグスではブルースタック山脈で山歩きをしたりなど。ラテンアメリカを巡る航海では、イリャベラの真っ青な海でシュノーケリングをしたり、ウルグアイではマゼランペンギンを見に行ったり、大草原をドライブしてエンパナーダやバーベキューが楽しめる本格的なガウチョフィエスタに参加したりなどができます。

オーシャニアクルーズ社長フランク・A・デル・リオ は「2025 年グランドボヤージュでは、時間に縛られることなく世界中を探検していただけます。充実した寄港地観光ツアーで各地をより深く満喫していただいた後は、ラグジュアリー小型客船ならではのゆったりとした船内で身体を休ませることができます。2025 年の私共のグランドボヤージュはいずれも珠玉のラインナップです。お客様を船上でお迎えするのを楽しみにしております」と述べます。

洋上で最も広いスタンダードステートルームを装備したオーシャニアクルーズ全船は、地上で盛り沢山の活動を楽しんだ後に船内のくつろぐスペースが確保されていることから、長期クルーズには最適です。ビスタ、リビエラ、マリーナ、そして 2025 年にデビューする新造船アリユーラでは、終日航海日でも、アクア マールスパ+バイタリティセンターで疲れを癒したり、カリナリーセンターで美食の腕を磨いたり、アーティストロフトで創作活動に励んだりすることができます。

オーシャニアクルーズのアリユーラ、ビスタ、マリーナ、リビエラは究極の美食船です。船上では世界初の実践料理教室、寄港地ではカリナリーディスカバリーツアーが実施され、訪れる各地の食の伝統に没入することもできます。

唯一無二の美食クルーズラインは、万華鏡のように展開される新しい味覚の食体験をしながら世界を探訪できるベストの選択肢です。オーシャニアクルーズの客船は、他のどのクルーズラインよりも広い厨房スペースにどこよりも多い生鮮食品の貯蔵量を誇り、スペシャリティレストランではグルメ垂涎の美食を実現しています。

乗客 670 名でより小型のノーティカ、レガッタ、シレーナ、インシグニアは、美しい小港にもアクセスでき、優雅なヨットで旅するような船上体験で世界を訪れることができます。

オーシャニアクルーズで用意されている多数の地上観光は、様々な興味に応えるもので、各地の文化、歴史、食伝統への没入体験が可能。カリナリーディスカバリーツアーは、行く先々で現地の食通になった気分になれるまたとない機会です。ヘルシンキでは、シェフと共に食材探しに出かけ、地元の市場でトナ



カイヤクラウドベリーを調達し、船上のカリナリーセンターで地元料理を習います。プエルトリコのサンファンでは水耕栽培農場を訪れてから、船上で農場の食材を使った料理教室が開催されます。

ゴーローカルやゴーフリーといった地上観光でも様々な体験が企画されています。バリ島ではマングローブ保護やカニ養殖について学び、アイルランドのコークでは、ハーリングやゲーリックフットボールといったゲールスポーツを楽しみます。

2025 年グランドボヤージュのハイライト:

Outback & Island Pearls - 25 泊: レガッタでインドネシアのバリ(ベノア)から仏領ポリネシアのパペーテ(タヒチ)へ

ユネスコ世界遺産コモド国立公園の3島のひとつ・コモド島探検。世界屈指のソフトコーラルのラウトカでシュノーケリング。緑濃い雨林やランの農園を散策。美しいジーナのトロピカルガーデンを訪れ、ソポアガの滝でサモアの植物について学び、ボラボラのラグーンではシュノーケリングサファリで海の生き物たちと触れ合います。

Exotic Atlantic Shores - 22 泊: インシグニアでブラジルのリオデジャネイロから南アフリカのケープタウンへ

温暖な1月の南米を満喫。モンテビデオでユダヤ人の遺産を訪れ、ティグレ・デルタ地区をブエノスアイレスに向かってクルーズして、サンイシドロ大聖堂に魅了され、サンテルモの石畳地区でタンゴ教室に参加。世界で最も遠い地の領土で住人わずか300人のトリスタンダクーニャでは火山の威容に圧倒されます。

Revered Pagodas - 22 泊: インシグニアでシンガポールから台湾の台北(基隆)へ

コーサムイではビッグブツダを拝んで、野生のサルに囲まれ、バンコクでは黄金の寺院や宮殿、ストリートフードで有名なクロントーイ市場などに。フエではグエン朝の皇帝たちの暮らしに触れ、トゥ・ドック皇帝の墓を訪れます。上海から行く網師園は蘇州を代表する庭園でニューヨークの近代美術館にある明軒ガーデンの手本となっています。

Southern Seas Explorer - 61 泊: インシグニアでオーストラリアのパース(フリーマントル)からカリフォルニア州サンディエゴへ

オーストラリアではケープ・ル・グラン国立公園のカンガルー、エスペランズのピンク色の湖、有名なシドニーのオペラハウスなど。ニュージーランドではベイ・オブ・アイランズで空飛ぶイルカ、カツオドリ、ブルーペンギンに出会い、ネーピアではワインに舌鼓し、ウェリントンではロード・オブ・ザ・リングの景色に身

OCEANIA CRUISES®

を置き、間欠泉で有名なテ・プイアを訪れたりも。日付変更線を超えての南太平洋のアイランドポッピングはバヌアツ、フィジー、ボラボラに。その後船は太平洋を航行してホノルルとヒロを經由して終着点のサンディエゴに。

Mediterranean Odyssey - 22 泊: アリュウテでギリシャのアテネからモナコのモンテカルロへ

寄港地滞在重視の地中海クルーズのハイライトは見事に保存されているエフェソス古代遺跡、魔法のような魅力のアマルフィ海岸、美しい海岸線で知られる長閑なイビザ。1 泊停泊するイスタンブールではブルーモスクやアヤソフィアで没入体験を。おしゃれなモンテカルロではグランドコルニッシュにそって散策したり、大公宮殿を訪れたりも。

Indian Ocean Treasures - 35 泊: ノーティカでシンガポールから南アフリカのケープタウンへ

大都会クアラルンプールの次に訪れるコロンボでは、仏教の長老との瞑想や、気分を盛り上げるキャンディアンダンスセラピーの体験を。インド沿岸部の古都ゴアの雑踏に紛れ、モルディブではラグジュアリーなビーチリゾートを満喫。マダガスカル国立公園ではピグミーカワセミ、カメレオン、キツネザルなどの生き物たちに。モザンビークの歴史遺産は活気に満ちたマプトで。

Radiant Brazil & Argentina - 21 泊: マリーナでブラジルのリオデジャネイロからアルゼンチンのブエノスアイレスへ

ブラジルの伝統的帆船でイリヤグランジの絶景シュノーケリングスポットに向けて出航。イリヤベラではトレストンボス滝に。アルゼンチンでは羊の毛を刈り、プンタニンファス岬でマゼランペンギンのコロニーに。ティエラ・デル・フエゴでは湖の展望を楽しみ、氷河を眺めながらエスコンディッド湖に。

Tropics of the Far East - 24 泊: リビエラで東京からシンガポールへ

遠くに富士山を眺めながら三保の松原を散策し、17 世紀に造られた癒しの庭園・仙巖園に。プエルトプリンセサでは世界最長の地下河川をアウトリガー船で辿り、スラバヤでは中世のティクス寺、バリ島(ブノア)で 1 泊停泊の後、建築や多様な文化、そして美食で有名なインドネシアの首都ジャカルタに。

究極の価値

オーシャニアクルーズは、スペシャリティレストランでの食事、無制限 WiFi、penthouse スイート以上のバトラーサービス、ジュース、炭酸または非炭酸の Vero Water®、コーヒー、紅茶といったクルーズ料金に含まれる設備サービスで、ウルトラプレミアムクルーズによる究極の価値を乗客に提供しています。



オーシャニアクルーズの豪華小型船、絶品の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。

オーシャニアクルーズについて

オーシャニアクルーズは洋上最高の料理と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大乗客定員 1,250 名、全 8 隻のラグジュアリーな小型客船が洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験で、7 大陸 100 か国以上の 600 を超える主要港から小さな港までを 7 泊から 200 泊余りをかけて巡ります。2027 年と 2028 年または 2029 年[1]の引き渡し予定で 2 隻の船を発注済み。オーシャニアクルーズはノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス (NYSE: NCLH) の完全子会社です。詳細は www.nclhltd.com

[1] オーシャニアクルーズ 2 隻目の引渡しは、契約上は 2028 年第 4 四半期に予定されていますが、2029 年に延期される可能性もあります。

画像提供はオーシャニアクルーズ

【発行元】オーシャニアクルーズ PR 株式会社フレア